



## シラバス参照

タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育\_全学モジュール I-1. 先進医学と現代社会**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火2
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20120586000902	科目番号	05860009
授業科目名	●先進医学と現代社会 I (遺伝子と生命)		
編集担当教員	中島 正洋		
授業担当教員名(科目責任者)	中島 正洋		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	中島 正洋		
科目分類	全学モジュール I 科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[全]新棟4		
対象学生(クラス等)	教育学部, 経済学部, 水産学部		
担当教員Eメールアドレス	moemoe@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	原研病理		
担当教員TEL	095-819-7108		
担当教員オフィスアワー	木曜日12時から15時		
授業のねらい	生命現象や疾患の概要を理解するのに必要な基礎生物学的知識を習得する。細胞の構造から遺伝子の機能と発現調節を理解し、その異常と疾患の関係について概略を説明できるようになる。		
授業方法(学習指導法)			
授業到達目標			
授業内容	回	内容	
	1	オリエンテーション	
	2	生命の機能単位としての細胞の構造	
	3	細胞の化学と生合成: エネルギー代謝	
	4	染色体、細胞周期および細胞分裂	
	5	染色体と遺伝子の関係、メンデルの法則	
	6	DNAの構造と役割	
	7	DNAからタンパク質まで	
	8	遺伝子発現の調節	
	9	細胞内の情報伝達	
	10	バイオテクノロジー	
	11	細胞と組織構造の関係	
	12	病気の分類と形態	
	13	遺伝子異常と病気	
	14	がんの生物学	
	15	まとめ	
16			
キーワード			
	アメリカ版大学生物学の教科書		

教科書・教材・参考書	第1巻細胞生物学 D.サダヴァ他著 石崎泰樹/丸山敬監訳・翻訳(講談社) 第2巻分子遺伝学 D.サダヴァ他著 石崎泰樹/丸山敬監訳・翻訳(講談社) 第3巻分子生物学 D.サダヴァ他著 石崎泰樹/丸山敬監訳・翻訳(講談社)
成績評価の方法・基準等	期末試験 50% 課題レポート 30% 出席点 20%
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



## シラバス参照

タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育\_全学モジュール I-1. 先進医学と現代社会**」  
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	後期	曜日・校時	月1
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20120586002501	科目番号	05860025
授業科目名	●先進医学と現代社会 I (細胞と放射線)		
編集担当教員	永山 雄二		
授業担当教員名(科目責任者)	永山 雄二		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	永山 雄二		
科目分類	全学モジュール I 科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[全]新棟4		
対象学生(クラス等)	教育学部, 経済学部, 水産学部		
担当教員Eメールアドレス	nagayama@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	医学部・原研・分子医学分野		
担当教員TEL	095-819-7173		
担当教員オフィスアワー	7:30-8:50、毎日		
授業のねらい	生命の最小単位である細胞の構造と機能、さらにその集合体である生物に関する基本知識を習得する。また合わせて、原爆を含む放射線の人体影響を学習する		
授業方法(学習指導法)	講義		
授業到達目標	細胞の構造と機能を説明できる。放射線の細胞・生体への影響を説明できる。		
授業内容	回	内容	
	1	細胞:生命の機能単位	
	2	ダイナミックな細胞膜	
	3	エネルギー・酵素・代謝、化学エネルギーを獲得する経路	
	4	中間試験	
	5	細胞の情報伝達	
	6	組換えDNA技術とバイオテクノロジー	
	7	分子生物学、ゲノムプロジェクト、医学	
	8	中間試験	
	9	放射線の基礎	
	10	放射線による検討影響①	
	11	放射線による検討影響②	
	12	免疫:遺伝子と生体防御システム	
	13	発生における特異的遺伝子発現	
	14	発生と進化による変化	
	15	中間試験	
16	予備		
キーワード	細胞、放射線		
教科書・教材・参考書	参考図書: 大学生物学の教科書、講談社BLUE BACKS、第1 & 3巻		

成績評価の方法・基準等	2/3以上の出席、試験で60点以上。
受講要件(履修条件)	全回出席が可能であること、予習を行ってこること
本科目の位置づけ	モジュール2理解のための医学の基礎知識を得る。
学習・教育目標	医学の基礎を学び、モジュール2の理解へ繋げる。
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



-----  
Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



## シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育\_全学モジュール I-1. 先進医学と現代社会**」  
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	後期	曜日・校時	火1
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20120586000102	科目番号	05860001
授業科目名	●先進医学と現代社会 I (人体の構造と機能)		
編集担当教員	弦本 敏行		
授業担当教員名(科目責任者)	弦本 敏行		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	弦本 敏行, 嶋田 敏生, 蒔田 直昌, 松本 逸郎		
科目分類	全学モジュール I 科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[全]新棟4		
対象学生(クラス等)	教育学部, 経済学部, 水産学部		
担当教員Eメールアドレス	tsurumot@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	医歯薬学総合研究科 生命医学講座 肉眼形態学分野		
担当教員TEL	095-819-7021		
担当教員オフィスアワー	16:00-17:00		
授業のねらい	医学を理解するうえで必須の知識として、ヒトのからだの構造と機能の概略を学ぶこと		
授業方法(学習指導法)	ヒトのからだを部位別、系統別に分けてそれぞれを2回ずつ解説してゆく。第2回目以降、それぞれのテーマに対して偶数回では構造から、また奇数回では機能からアプローチして理解を深める		
授業到達目標	ヒトのからだの基本構造と機能の概略を説明できる		
授業内容	回	内容	
	1	序説: 人体の成り立ちについて考える	
	2	消化・吸収と肝・胆・膵 (構造からのアプローチ)	
	3	消化・吸収と肝・胆・膵 (機能からのアプローチ)	
	4	呼吸と血液 (構造からのアプローチ)	
	5	呼吸と血液 (機能からのアプローチ)	
	6	循環系: 心臓と脈管 (構造からのアプローチ)	
	7	循環系: 心臓と脈管 (機能からのアプローチ)	
	8	自律神経、内分泌、免疫 (構造からのアプローチ)	
	9	自律神経、内分泌、免疫 (機能からのアプローチ)	
	10	生殖、発生、遺伝子 (構造からのアプローチ)	
	11	生殖、発生、遺伝子 (機能からのアプローチ)	
	12	支持系と運動系 (構造からのアプローチ)	
	13	支持系と運動系 (機能からのアプローチ)	
	14	中枢神経と末梢神経 (構造からのアプローチ)	
	15	中枢神経と末梢神経 (機能からのアプローチ)	
16			
キーワード	人体構造、人体解剖学、生理学		
	参考書:		

教科書・教材・参考書	基礎からわかる解剖学 [ナツメ社] 1,890円 ヒューマンバイオロジー 人体と生命 [医学書院] 5,460円 ナーシング・グラフィカ 解剖生理学 [メディカ出版] 5,040円 系統看護学講座 解剖生理学 [医学書院] 3,990円
成績評価の方法・基準等	授業中に実施する小テストおよびレポートの点数を合計して成績を評価する
受講要件(履修条件)	とくになし
本科目の位置づけ	"先進医学と現代社会" という大きなテーマを理解するうえで、基礎的な必須知識を習得を目指す講義である
学習・教育目標	一般教養としての医学、とくに解剖学と生理学を理解することが目標である
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.